

2015年2月26日

各 位

会 社 名 大塚ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 樋口 達夫  
(コード番号：4578 東証一部)  
問合せ先 IR部 IR担当部長 小暮 雄二  
(TEL 03-6361-7411)

### 酸関連疾患治療剤「タケキャブ<sup>®</sup>錠」日本における発売について

当社の100%子会社である大塚製薬株式会社が下記について発表をいたしましたのでお知らせします。なお、本件につきましては2015年2月13日に発表した当社2015年度の連結業績予想に織り込み済みであり、業績予想の変更はありません。

\*\*\*\*\*

武田薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：クリストフ・ウェバー、以下「武田薬品」）と大塚製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：樋口達夫、以下「大塚製薬」）は、本日、武田薬品が創製した酸関連疾患治療剤「タケキャブ<sup>®</sup>錠10mg、同錠20mg」（一般名：ボノプラザンフマル酸塩、以下「タケキャブ」）について、日本で発売しましたのでお知らせします。

タケキャブは、武田薬品が創製したカリウムイオン競合型アシッドブロッカー（Potassium-Competitive Acid Blocker：P-CAB）とも呼ばれる新しい作用機序の酸関連疾患治療剤であり、胃壁細胞における酸分泌の最終段階に位置するH<sup>+</sup>、K<sup>+</sup>-ATPase（プロトンポンプ）をカリウムイオンと競合的に阻害することにより、速やかに強く持続的な酸分泌抑制作用を示します。2014年3月末に、武田薬品と大塚製薬は、本剤の国内における共同プロモーション契約を締結しています。

武田薬品の取締役 ジャパンファーマビジネスユニット プレジデントの岩崎真人は、「当社は、タケプロン<sup>®</sup>の発売以来、20年以上にわたり酸関連疾患に悩んでおられる患者さんや、治療にあたる医療関係者の方々と向き合ってきました。この度、最適なパートナーである大塚製薬と共に、酸関連疾患治療におけるアンメット・メディカル・ニーズに対応する新たな治療オプションを提供できることを嬉しく思います。当社は、今後さらに、本剤を通じて酸関連疾患治療に貢献してまいります」と述べています。

大塚製薬の取締役（兼）専務執行役員 医薬営業本部長 玉井 進は、「当社は、消化管領域で独創的な治療薬ムコスタ<sup>®</sup>やヘリコバクター・ピロリの感染診断システムを構築し、診断から治療まで広く貢献してきました。この度、待ち望まれていた新しい酸関連疾患の治療薬タケキャブを武田薬品と共同でプロモーションして患者さんにお届けできることを嬉しく思います。今後も患者さんのヘルスケア向上を目指して革新的な創薬や診断薬の開発に努めてまいります」と述べています。

以上